

ふるさとまつもと寄附金（ふるさと納税）の募集状況について

1 趣旨

ふるさと納税を強化した令和3年10月以降、1年間の状況について報告するものです。

2 実績（入金ベース）

期間	寄附金額	寄附者数	寄附単価
R3.10～R4.9	333,888,108円	6,570人	50,820円
R2年度	20,466,200円	733人	27,921円
比較	16.3倍	9.0倍	1.8倍

3 返礼品登録件数

令和4年9月末 303品

令和2年度末 25品

4 返礼品上位10品

(1) 件数順

	返礼品名	提供事業者	寄附単価	件数
1	シェーバー	マクセルイズミ(株)	48,000円	841件
2	シェーバー※洗浄機付	マクセルイズミ(株)	60,000円	783件
3	界松本宿泊ギフト券30,000円分	(株)大和	100,000円	354件
4	ヘアドライヤー	マクセルイズミ(株)	42,000円	337件
5	野菜ジュース24本	(株)伊藤園	10,000円	276件
6	JTB旅行クーポン3,000円分	(株)JTB	10,000円	256件
7	青汁ジュース24本	(株)伊藤園	10,000円	255件
8	クラフトビール6本	(株)松本ブルワリー	12,000円	203件
9	信州味噌3種セット	(株)丸正醸造	10,000円	202件
10	JTB旅行クーポン30,000円分	(株)JTB	100,000円	185件

(2) 金額順

	返礼品名	提供事業者	寄附単価	金額
1	シェーバー※洗浄機付	マクセルイズミ(株)	60,000円	46,980,000円
2	シェーバー	マクセルイズミ(株)	48,000円	40,368,000円
3	界松本宿泊ギフト券30,000円分	(株)大和	100,000円	35,400,000円
4	明神館宿泊ギフト券80,000円分	(株)明神館	267,000円	30,171,000円
5	JTB旅行クーポン30,000円分	(株)JTB	100,000円	18,500,000円
6	ヘアドライヤー	マクセルイズミ(株)	42,000円	14,154,000円
7	明神館宿泊ギフト券30,000円分	(株)明神館	100,000円	9,400,000円
8	ふるぽ旅行クーポン30,000円分	(株)JTB	100,000円	7,200,000円
9	明神館宿泊ギフト券50,000円分	(株)明神館	167,000円	6,680,000円
10	界松本宿泊ギフト券15,000円分	(株)大和	50,000円	6,400,000円

5 カテゴリー上位5種

(1) 件数順

	カテゴリー	件数
1	家電	2,013 件
2	旅行	1,503 件
3	飲料	1,199 件
4	果物	642 件
5	加工食品	623 件

(2) 金額順

	カテゴリー	金額
1	旅行	141,718,000 円
2	家電	104,382,000 円
3	飲料	13,954,000 円
4	工芸品	13,141,000 円
5	酒類	11,635,000 円

6 収支の改善状況 ※R4 年度寄附金税額控除額（R3 年市民寄附分）との比較

(1) 制度上収支

ア 直近1年間の収入は、寄附金額約3億3,400万円となりますが、一方で松本市民が他自治体に寄附したことによる市民税の税額控除額約4億9,200万円が、減収となっています。

イ 減収分の75%は国の普通交付税で補填されるため、制度上の収支は約2億1,100万円のプラスとなります。

(2) 実質収支

ア 返礼品の調達や決済手数料などの経費支出が、約1億4,700万円ありますので、これらを差し引くと、実質収支は約6,400万円のプラスとなります。

イ これまでは赤字が続き、前年度は約8,200万円のマイナスであったことから、収支が大幅に改善されています。

【収支の状況】

松本市への寄附		松本市民による 他自治体への寄附		普通交付税 算定対象額 (2)×0.75 ③	制度上収支 (1)-②+③ ④	経費支出 (返礼品等) ⑤ ※R3.10~R4.9 は一部推計値	実質収支 (4)-⑤
寄附年度	寄附金額 ①	控除年度	寄附金 税額控除額 ②				
R2年度	20,466	R3年度	382,030	286,523	△ 75,041	6,895	△ 81,936
R3.10~ R4.9	333,888	R4年度	492,161	369,121	210,848	147,327	63,521

(各年6/1現在) (単位：千円)

7 成果

- (1) 寄附者数が大幅に増加していることから、ふるさと納税の強化は、松本市の知名度・認知度アップと松本ファンの獲得に、大きく寄与したものと考えます。
- (2) 松本の地場産品や地場サービスが、返礼品として多くの寄附者に選ばれたことから、松本の優れたモノ・サービスを、全国に向けて大きくPRできました。
- (3) 返礼品の増加により、地元経済の活性化が図られるとともに、実質収支の黒字化により、財政面でもプラスに転換できました。